

アンケート（オープンハウス）の結果について

- 1 計画等の案の名称 真鶴町公共施設等総合管理計画（案）
- 2 実施場所 情報センター真鶴（真鶴地域センター）1階
- 3 募集期間 2026年2月3日（火）から2月13日（金）
- 4 実施結果 35名（（1）件数 33件、（2）件数 23件、（3）件数 15件）
- 5 いただいたご意見
 （1）なくなると困る、または残してほしいと感じる施設・機能があればその理由とあわせて教えてください。

No	意見
1	町民センターの会議室等や情報センター1F 住民サポートコーナー、放課後の子どもの居場所、住民サークル等の活動場所等の住民が集える場所としての機能は残してほしい。
2	町民センター、散歩しながらも寄れるところ、子供たちも利用しているところ住民が集まりやすい場所を残してほしい。
3	情報センター1F、子供が安心して学校帰りに居られる所、老人が気がねなく居られる場所を残してほしい。
4	子どもと大人が集まれるのに情報センター1階のフリースペース以上にいい場所はないため、引き続き、町民が使えるようにしてほしい。
5	情報センターは残してほしい。
6	図書館等は今までどおり残してほしい。利用者もほかに移ると、始めから他に行くことは大変だと思う。
7	情報センターのフリースペースは残してあげてほしい。
8	町民の方（中学生、高齢者など）が気軽に立ち寄って交流できる場が他になくなってしまいうため、情報センターのフリースペース（住民活動の利用スペース）は残してほしい。
9	町民センターとまなづる図書館は町民にとって生活に近い大切な施設であるため、むやみに場所をかえたりして欲しくない。
10	情報センターは皆が気軽に利用できる場であり、保健室さん等が来ていて、なくなると困る。
11	子ども達の遊ぶ場所をなくさないでほしいので情報センターは残してほしい。
12	情報センターの住民サポート、特に映像ホールを平日・休みの時、利用し、とてもうれしい気持ちでいるのでぜひ残してほしい。移転を2.3年くらい待ってほしい。
13	情報センター1Fは町民に対して非常に便利な施設。特に毎日子供たち、小中学生達、放課後、1階に集まり、宿題をしたり、勉強したり、年寄りたちもここでゆっくり本を読むこともできて、とても便利な場所。ここは真鶴町唯一なところなのでなくなることに反対。
14	情報センター1Fはくつろいだり、読書や勉強をしたり、自由な時間を過ごすのに心地よい温かさのある空間。この空間がなければ生活の質は大きく損なわれてしまう。
15	椅子、枕を残してほしい。フリーWi-Fiも残してほしい。

16	図書館は今の場所で存続してほしい。駅のむこうに行くのは不便。学校と一緒にするという話があるが、授業中は使用できないし、町民図書館を別に作るのならいいが、移転するなら今以上の規模でなければおかしい。
17	情報センター1階と同センター2階のベランダ（バルコニー）を残してほしい。なぜならそれらは人々が触れ合う場になっているから。
18	情報センターの多目的スタジオ等のレンタルスペースとお林展望公園でのマナ真鶴を残してほしい。
19	図書館も含めて情報センターは現状のまま残してほしい。利用時間の8:30~20:00（平日）、9:30~18:00（休日）もそのままにしてほしい。時間内の1Fは利用者が自由に滞在でき、休憩・仕事・学習などをすることができる。また、夜間には建物の明りのおかげで人々が安全に道を通行できたり、専任の職員の方も居られるので、トイレ利用にも不安がないし、何かあったときには館内へ避難できる等とても安心な施設。現在の役場は耐震工事済みとのことで、まだ暫くは使用に耐えられられるため、何年後には移転するとしても、事は急がずに、ある程度の時間を掛けて柔軟に計画を進めていただきたい。
20	図書館の学習机スペースは現状のまま残してほしい。学生・生徒の勉強する場、恒例の方々の生涯学習の場として他の場所では得られない環境（山並みや海も一望できる）の中で有意義な時間を過ごさせてほしい。情報センターは町民が最大限利用できる施設として今の機能を残したほうがよい。
21	静かで景色のよい環境で読書がしたいので、図書館を今の場所に残してほしい。
22	小中学生の居場所になっていることから、情報センターのフリースペースは残してほしい。すでにできている居場所を壊して新しく人がよりつくまでにどれほどの時間がかかるのか。
23	図書館は今のままで残してほしい。地理的にも規模的にも今と同等以上の施設を用意できるなら検討の余地があるが、子供たちから老人まで安心して使える状態を残してほしい。
24	中川一政美術館は真鶴の歴史・文化継承にとって必要と言える。外部事業者等の力を必要としつつ、その方針や運営にあたっては、町民や従来支えてきたサポーターズ等の意見を取り入れるべきと考える。質・センスともに向上する運営により、再生（収支含む）は可能。
25	旧琴ヶ浜研修センターの駐車場は町民が使いやすいように戻していただきたい。
26	小学校のプールは夏に町民が使えるようにしてほしい。地下水は、災害の時にも利用できる所以、使える状態にしておいていただきたい。
27	遠藤貝類博物館は採算がとれなくても教育施設として残してほしい。
28	役場をまなづる小学校跡地に移転し、その他町民センターで活動している団体や新たな団体の活動の場に再利用する方法を検討いただきたい。
29	旧琴ヶ浜研修センターについて、駐車場を町民に開放してもらいたい。駐車料金が高く、町民が気軽に利用できなくなっている。
30	くらしかる真鶴について、移住促進につながってるのであれば、残してほしいです。
31	まなづる小学校は移転後も町で所有して緊急時の避難場所として使えるようにしてほしい。
32	琴ヶ浜研修センターは磯遊びの拠点としてディスカバーブルーさんなどに管理してもらえばまなづる未来学の実践の場になるのではないのでしょうか。
33	コミュニティ真鶴は子どもから大人まで、また、町内、町外の方や外国の方とも知り合える大切な場所です。子供の声が聞こえるのがすばらしい。

(2) 見直してもよいと思う施設・機能があればその理由とあわせて教えてください。

No	意見
1	町民センター1Fの集会室・機能回復室の利用をもっと使い勝手よくしてほしい。
2	くらしかる真鶴について、空き家もないのに移住希望者に貸しても意味なし。お店のスペースをもっと町民に開放すべき。
3	琴ヶ浜研修センター必要なし
4	現在の役場を残してほしい（耐震補強で使用）
5	役場は小学校跡地でもいいかと思う。
6	琴ヶ浜研修センターは民間に有効活用してもらいたい。
7	情報センターはいい施設なので町民の方にもっと活用してもらえるようにするべき。物産市のように定期的にお店をひらくなど活用方法はまだまだある。
8	くらしかる真鶴はお店のスペースがいつも空いているので、もったいない。真鶴のために沢山使ってほしい。
9	情報センター1Fの利用率は本当に低い。役場としての役割が足りない。
10	コミュニティ真鶴は管理している親子さんの子しかいられない場になってしまっており、居場所の分断になっている。
11	岩地区集会所は階段で、高齢者等に不便である。
12	旧土屋邸利活用で内部に集会所機能を入れてはどうか。岩地区住民に愛されてきた場所ゆえ、部分的に地域で管理運営の複合的利用はありと考える。
13	琴ヶ浜研修センター又はケーブ真鶴を事業者の拠点として使用してもらい、真鶴の海の学びの活動エリアにしてほしい。
14	琴ヶ浜の駐車場を町民にも使いやすくしてほしいです。
15	シーフロントが町の施設だということを初めて知った。不要だと思う。
16	琴ヶ浜研修センターは駐車場とし、磯遊びや半島に来た方々の玄関口として利用するのがいい。
17	岩小学校もこのまま残していても負の遺産になるばかりのため、映画ロケ地として使いたい方などを集い、その収益で取り壊す。
18	とにかくハコモノは少しでも少なくしていく方向はあっていると思うので、利用者がいないところから、見直して欲しい。
19	岩ガキ出荷センターについて、岩ガキの成育状況を考えると、他の用途での使用を検討したら良いと感じる。
20	魚座（店舗棟）やシーフロントについて、公共施設だということを初めて知った。維持管理費がかかっているようなので、民間への売却も検討していただければと思う。
21	シーフロント、宮ノ前レストハウス、魚座（店舗棟）など自営業だと思っていたので、町で所有しなくても良い。
22	シーフロントはカフェをやりたい町外の方を招いてもらいたい
23	岩ガキ出荷センターは使わない期間そのままにしておくのがもったいないので、町内の別業者に貸す等検討してほしい。

(3) 各施設の方向性案に対してご意見等お聞かせください。

No	意見
1	空き家とかを利用できるようにしてほしい。
2	管理者がくらしかる真鶴でビジネスをしているので、もっと使用しないと税金の無駄。
3	町民が使いやすいように町民の誰でも使える憩いの場所を作ってほしい
4	現在ある施設を大切にメンテナンスしながら使ってほしい。役場を真鶴情報センターに移動するのに2000万弱かかるとか。そのお金でメンテナンスしてほしい。
5	情報センターがもっと憩いの場になればと思っている。
6	情報センター1階で、勉強セミナーとか、コンサートとか、書道展示とか、絵画展示、子供たちの作品展示とかを検討してほしい。
7	情報センター1階は便利。開館時間も便利。
8	町民、役場が一丸となって町を発展させてもらいたい
9	役場の機能移転に伴う工事等の費用が2千万円かかるとのこと。真鶴町の財政からするとそこに莫大な費用をかける位ならほかの使い道があるのでないかと思う。物価高の中で生活が苦しくなる一方、水道料金の値上げ、町民は納得できないと思う。
10	情報センターの地下多目的トイレ及び1F屋外男子トイレの換気扇が壊れており、地下については臭気がこもる。1Fについては扉を開放する運用としているため、用を足している姿が外から見えてしまう。今後は役場機能移転をすることが想定されていることから、放置せず、修繕すべきではないか。
11	中川一政美術館について、名称を「町立美術館」に変更することですが、変更することでお客が増えるとは思わない。小さな町の郊外にある「町立美術館」にわざわざ足を運ぶ人は多くない。「中川一政」というネームバリューで遠くからのファンが来てくれる。名称をそのままにして展示物を他方面にするのも一考と考える。「町立美術館」という響き。なんと魅力のない呼び方でしょうか。公共の美術館ならもっと大きな市町に行く。
12	町の規模に対して、施設の数が多すぎる。高齢者の方々は自分の主張ばかりではなく、町の将来をしっかりと考えていただきたい。
13	情報センターの1階に設置されているイス・テーブル・ハンモック・子ども用マットのおかげで、にぎわいを見せ、町民が集う場所へと大変身を遂げた。とてもありがたい。役場の機能を情報センターへ移動することを計画のようですが、移転後は人の流れが変わり、居心地の良い場所が失われそうで不安になる。
14	高齢者など声の大きい方の意見ばかり通ってしまうと将来困るのは下の世代なのに・・・とってしまう。
15	くらしかる真鶴を利用したい人が実際どのくらい移住したのか数字をだしてほしい。